

# 宇宙基本計画の実行に向けた提言（概要）

－ 令和5年度宇宙関係予算で担保すべき重点事項－

2022年7月19日

一般社団法人 日本経済団体連合会



# 1. はじめに

---

- 経団連は昨年7月、令和4年度の概算要求に向けた提言を公表。この1年間で、世界的に宇宙システムが果たす役割はより重要。

- **政府全体の宇宙関係予算は過去最大の5,219億円**  
(令和4年度の当初予算と令和3年度補正予算の合計)。



- 経団連として、**令和5年度の宇宙関係予算で担保すべき重点事項を取りまとめ**。

## 2. 宇宙開発利用の重要性

### (1) 宇宙安全保障の確保

ロシアによるウクライナ侵略で、宇宙の安全保障利用が顕在化。

### (2) 災害対策の強化および地球規模課題への貢献

宇宙システムにより被災状況を迅速に把握。温暖化対策でカーボンニュートラルの実現に貢献が期待。

### (3) 宇宙科学・探査による新たな知の創造

宇宙空間における人類の活動領域を拡大。

### (4) 経済成長への貢献

世界的に宇宙産業規模が拡大。欧米を中心に民間企業の宇宙活動が活発化。

# 3. 宇宙政策の重要事項（1）

---

## (1) 宇宙安全保障の確保

### ① 宇宙状況把握（SSA）能力の強化

宇宙状況把握（SSA）システムの運用を2023年度に開始し、SSA衛星を早期に打ち上げるべき。

### ② 早期警戒機能の整備

早期警戒機能を保有する小型衛星コンステレーションの構築が急務。

### ③ 準天頂衛星システムの開発と整備

準天頂衛星システムの7機体制を2023年度に確実に構築すべき。

# 3. 宇宙政策の重要事項（1）

---

## (1) 宇宙安全保障の確保

### ④ 宇宙システムの抗たん性の確保

サイバー攻撃への対策を強化し、電子戦や情報戦に対応する必要。

### ⑤ 情報収集・警戒監視・偵察（ISR）能力の向上

弾道ミサイルなどについて、事前に的確に把握する能力を強化すべき。

### ⑥ 海洋状況把握（MDA）能力の強化

宇宙を活用してわが国の周辺海域の状況を把握する能力を強化すべき。

# 3. 宇宙政策の重要事項 (2)

## (2) 災害対策の強化および地球規模課題の解決

### ① 災害対策の強化

「だいち」 (ALOS) シリーズの整備による基幹インフラ化や、小型の合成開口レーダ (SAR) 衛星コンステレーションの構築が必要。

### ② 地球規模課題の解決

温室効果ガス観測・水循環技術衛星 (GOSAT-GW) の打上げ、宇宙太陽光発電システムの開発により、2050年カーボンニュートラルへの貢献が期待。

# 3. 宇宙政策の重要事項（3）

## (3) 宇宙科学・探査による新たな知の創造

### ① アルテミス計画への貢献

月周回有人拠点「ゲートウェイ」輸送を担う補給機の開発・実証と継続的運用を早期に実現すべき。月面活動に向けた技術開発も重要。

### ② ポストISSに対する方針の明確化

2030年以降の地球低軌道活動（ポストISS）について、産業競争力強化の観点で政府の方針を早期に明確化。

### ③ 有人宇宙技術の研究開発

有人輸送および有人滞在技術の研究開発を推進。

# 3. 宇宙政策の重要事項（4）

## (4) イノベーションの創出

### ① 宇宙産業とスタートアップや異業種の連携

宇宙産業とスタートアップが連携して技術開発

する仕組みの整備が必要。

### ② 衛星データ利用の促進

政府の衛星データのオープン&フリー化を促進。

### ③ 衛星技術の開発

「衛星開発・実証プラットフォーム」の活動で、

革新的基盤技術を開発。戦略的な技術開発や

開発リスクの低減等を目的としたフロントロー

ディングによる研究開発・実証の拡充・推進。 7

# 3. 宇宙政策の重要事項（5）

## (5) 宇宙産業基盤の強化

### ① 宇宙輸送システムの開発・運用

H3ロケットおよびイプシロンロケットの開発と運用を進めるため、アンカーテナンシーを推進。

### ② 契約制度の改善

宇宙産業が事業の継続に必要な基盤を強化するため、企業が適正な利益を確保できる契約制度の改善を実現。

### ③ サプライチェーンの強化

宇宙事業の重要部品等を一括して手配や製造ができるよう、政府による調達保証が必要。

## 4. 宇宙関係予算の確保

---

- 現行の宇宙基本計画の策定以降、宇宙関係予算が増加傾向にあり、宇宙産業基盤を拡大する2つの目標の達成に向けて着実な進展。



- 令和5年度の政府の宇宙関係予算の概算要求額は年間5,000億円を大きく超えるように増額し、  
今後毎年度の宇宙関係予算は5,000億円以上を継続的に確保すべき。政府全体として宇宙安全保障関連の予算を拡大する必要。

# 5. おわりに

---

- 宇宙をめぐる内外の環境は急激に変化。今こそ、宇宙安全保障の確保に向けた取組みを加速する機会。
- 宇宙開発利用推進委員会としても、宇宙関連のスタートアップとの連携の促進に向けた活動を引き続き展開。



- 経団連は、わが国の安全保障への貢献やイノベーション創出に向けて、宇宙産業の一層の発展に努める所存。

以上